



一八六三年
 八月廿一日
 横濱增新聞和譯
 一冊
 般谷溪先生写

洋学文庫
 文庫8
 A 116



時
167

大槻文庫



磐溪先生筆

八六三年八月二十一日 (文久三年七月八日相濟)

横濱増新聞譯

夏七月十四日木村氏より書状
同日着即刻改寫 磐溪

千八百六十三年第八月二十一日横濱増新聞ノ譯

我七月
八日ナリ

英國軍艦コロモラント書状ヲ以テ當港へ令着セリ右艦鹿兒島ニ
英國軍艦ニ逢ヒ次ノ新聞ヲ持參セリ○去ル八月十五日土曜日
我七月 第十二時 午 軍艦鹿兒島港ニ碇泊シアリテ大風吹ク日本人
ヨリ不意ニ發砲セリ不幸ニテ次ノ人ニ殺亡セリ

カビタン 船將
コシタル 大將

ウモット 名

右兩人一之ヲ打殺サル手負死人六十人船ハ多少損傷ス英船
當港へ歸リ來ル近キニアリ



書中ノ文巨細ニ記スルヲ得ス其大畧ヲ載ス當十五日第十二時
臺場ヨリ打出ス水師提督直ニ合圖ヲナス
日本船三隻ヲ燒ク捨仕掛ノ蒸氣船ナリ

船號

- 一 エンゲラン 此三艘トモ 横濱又ハ長崎ニテ
- 一 レルシオルシケレイ 買入名薩州ノ船ナリ
- 一 コンテスト

右日本船其朝ニナリテ軍艦ノ傍ニ碇泊セリ臺場ヨリ打掛丸
ヲ以テ軍艦碇ヲ上ケ臺場ヨリ五百乃至六百四丁ヨヤルト五丁離レテ

一列ニ連レリ臺場ヨリ射ル一甚強ク殊ニ大筒ニシテ其内六十
乃至七十挺ハナインチハ寸ノ破裂丸又三十二斤乃至二十四斤實丸
ナリカビタン并テシンドル前ニ名ヲ午後第二時五分頃甲板櫓
上船ノ高ニテ一彈丸ノ為ニ死ス又ナインチノ破裂丸甲板ノ中央ニ破裂シ
水夫七人即死シ手負ノ者水夫五人ロイテナントチヨラス一人ナリ 譯者曰云フ
+ 天氣悪ク雨アリ風陸ノ方ニ向テ吹ク午後第三時火府中ニ起ル筆
三時二十分ニ發砲止ム第九時二十分ニ造作場ニ打掛ル一終夜第八
月十六日 七月 午後第三時三十分ニ碇ヲ上ケ蒸氣ニテ港口ニ出掛
タルニ府ノ臺場ニ向テ打掛 破裂丸又ハ 唯答フル者ハ其臺場ニケ所ニ

ナリ碇泊セル所ハ臺場ヨリ彈丸ノ達セザル所ナリ
府ハ半夜尚燒テアリ

譯者云二度目ニ掛リ名所ナリ

手負死人目録

- 一 エライス船 死人十人 手負廿一人 内一人 死ス 三 ベール船 死人七人 内一人 士官
- 三 アルゴス船 手負三人 四 コック船 死人一人 手負六人 内一人 ロイヤル
- 五 ベルシス船 死人一人 手負二人 内一人 死ス 六 ライスボリス船 手負二人
- 七 ヲヤック船 死亡無之 如右

英船若クモ多ク至リ六月晦日本月船ハ有之戦争ニ及
テ二日程ハ回港ハ碇泊セ薩藩士ト多ク手負ヲ捕メ傷ヲ
付テ法判ル事ト成リ二日ハ至リ回港時ハ手負ニ由テ
軍艦明リハ揚濱ハ由港ニ由テ新関ニ上海分薩艦沖ニ碇
泊セヤル事ト

亥ノ七日 十月十日 本村成ノ事 秋田 廿四日 市刻 改寫ス





